

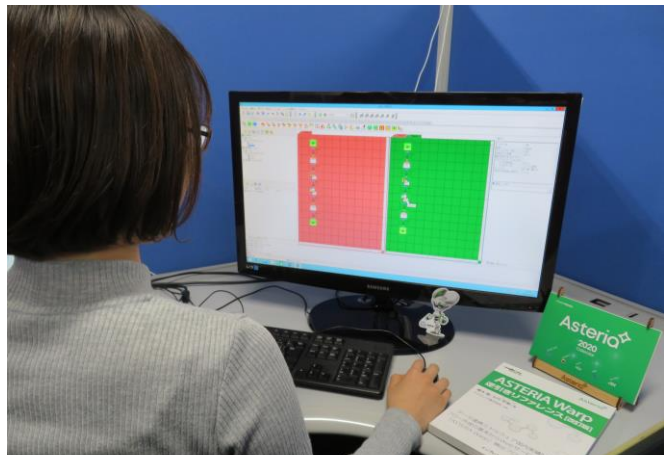
ASTERIA Warp 新バージョン（1912）を提供開始！ 操作性（UX）＆生産性アップに繋がる機能追加で開発効率を向上 ～ 拡大するユーザーコミュニティ(AUG)との連携で現場ニーズを捉えた新バージョン ～

アステリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）は、企業データ連携（EAI/ESB）製品の国内市場においてソフトウェア市場で13年間市場シェア No.1^{*1}を継続している「ASTERIA Warp（アステリア ワープ）」（提供価格：480万円～）および「ASTERIA Warp Core（アステリア ワープ コア）」（提供価格：3万円/月～）の新バージョン（バージョン名：「1912」）の販売を本日2019年12月25日より開始することを発表します。

今回、新バージョンの機能追加にあたっては、ユーザーコミュニティ(AUG)をはじめとする多くのユーザー様から直接フィードバックを集約し製品機能に反映すべく、部門横断的なプロジェクトチーム結成。これにより、実際に利用現場で求められる機能や改善事項を優先的に反映しています。新バージョンの拡販を通じて、アステリアでは企業向けデータ連携ソフトの国内市場シェアを2020年度には50%に高める目標を掲げています。

<バージョンアップ、機能を拡張する背景>

2002年に発売を開始した ASTERIA Warp は導入社数が8,000社を超え、2015年から開始したユーザーコミュニティ（AUG）への参加者数も延べ2,600名を超えています。AUGではユーザーとの直接のコミュニケーションが増えることで、多くのフィードバックをいただいております。ユーザーニーズに適切にこたえるべく迅速な機能改善が必要となっています。今回のバージョンアップでは、利用率の高いマッパー機能のさらなる機能追加や kintone 連携機能の拡張、マルチサーバー利用時のUI改修など、ユーザーフィードバックの中でご要望の多いものを優先的に製品機能に反映。操作性、生産性向上につながる機能を追加することでさらなる開発生産性の向上を実現しています。

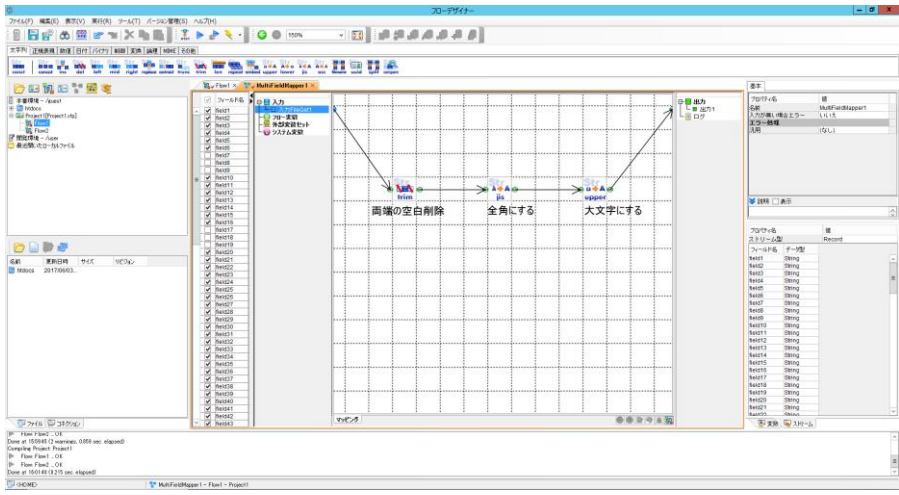


フローデザイナーのスタイル変更機能追加により
作業ウィンドウの色やスタイル変更が可能に
(テスト・本番環境などの画面識別が容易になり開発効率が向上)

■今後の ASTERIA Warp ビジネスの展開

アステリアの ASTERIA Warp は順調な拡大を継続しており、現在の導入社数は8,000社を突破するとともに、企業データ連携市場（EAI/ESB）では13年連続シェア No.1を継続し、業界のリーディングカンパニーとしての地位を更に強固なものにしています。今後も ASTERIA Warp の多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともに社会の要請に応じた機能強化を継続することでオフィス業務の効率化・自動化を実現。さらには、業務プロセスの省力化や残業時間の削減など、働き方改革の推進にも貢献していくことで、ASTERIA Warp シリーズ全体での国内市場シェアを50%以上（出荷数量ベース・2020年度）に高める目標を掲げています。

■新バージョンで追加される主な機能

UX 改善	管理コンソール (FSMC) のスタイル変更機能追加
	フローデザイナーのスタイル変更機能追加
MultiFieldMapper コンポーネント新規追加	マッピング時の複数の項目へ同じ処理を行う、専用の「MultiFieldMapper コンポーネント」を追加
	
追加フローテンプレート	データベースのスキマフォールディング (CRUD 処理)
	コンポーネントで登録したスケジュールの一覧を表示
	CSV から Salesforce の Account へ登録
	Salesforce の Account から CSV へ出力
kintone アダプター機能拡張	kintone 新 API (カーソル API) へ対応
	レコードのステータス情報の取得・更新機能追加
	サブテーブルへの「追加/更新」処理を追加
	すべての kintone コンポーネントヘリトライ機能の追加
	すべての kintone コンポーネントセキュアアクセス機能の追加

(今回のバージョンアップに伴う製品ラインアップや価格の変更はありません)

■「ASTERIA Warp」について (Web サイト : <https://www.asteria.com/jp/warp/>)

EAI/ESB 製品の国内市場において 13 年連続シェア No.1 製品である「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンプログラミングで連携できる ASTERIA Warp を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。ASTERIA Warp Core は、ASTERIA Warp の厳選された機能を初期費用 0 円、月額 30,000 円からのサブスクリプション形式で「手軽」にご利用いただけます。様々なシステムやサービスと迅速に連携することで業務自動化やデータ活用を実現します。

■「アステリア株式会社」について (Web サイト <https://www.asteria.com/>)

アステリア株式会社 (2018 年 10 月にインフォテリアから社名変更) は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 8,176 社 (2019 年 9 月末現在) の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,545 件 (2019 年 9 月末現在) の企業や公共機関で採用されています。

※1:テクノ・システム・リサーチ社「2019 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」EAI/ESBは、それぞれEnterprise Application Integration、Enterprise Service Busの略で企業内外のデータ連携を司る製品カテゴリーを指す。

プレスリリース 掲載 URL https://www.asteria.com/jp/news/press/2019/12/25_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先 (報道機関窓口)】

アステリア株式会社 広報・IR 室:長沼史宏
TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 エンタープライズ本部 マーケティング部: 東出 武也
TEL:03-5718-1250 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook、Platio はアステリア株式会社の登録商標です。
その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。